

令和
6年度

COMPASS 発達支援センター佐賀中央

事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	COMPASS 発達支援センター佐賀中央
○保護者評価実施期間	令和6年9月9日～令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 10名 (回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和6年9月9日～令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8名 (回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月25日

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多くの職種が在籍しており、さまざまな分野からの支援が可能な体制となっております。	朝礼や月に一度の会議の際には、支援計画をもとに全職種で情報共有を行い、児童一人ひとりに対して統一した支援ができるよう努めております。	午前中や児童の利用がない時間帯を活用し、職員間で専門的な知識の共有を行うことで、支援に対する意識の統一を図っております。
2	小学校や事業所において担当者会議を実施し、小学校の先生や保護者様と密に情報共有を行うことで、児童への統一した支援が行えるよう努めております。	対象児童の担当者会議の前後には、職員間での情報共有も徹底し、支援の方向性にずれがないよう工夫しております。	現在は児童発達支援管理責任者のみが会議に参加しておりますが、今後はさまざまな職種の職員が参加することで、より専門的かつ多角的な視点での話し合いができるようにしてまいります。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新規事業所の開設などに伴い、職員の異動や配置換えが必要になることがあり、時期によっては職員の入れ替わりが生じる場合があります。	できる限り一つの事業所からの異動人数を抑えるよう配慮し、支援体制に影響が出ないよう努めております。	新規事業所を開設する際には、できるだけ早めに人員を確保し、保護者様や児童に新しい職員に慣れていただけるよう、十分な引き継ぎと適応期間を設けるよう心がけております。
2	現在、言語聴覚士の資格を持つ職員が在籍していないため、言語面への専門的なアプローチについては課題を感じております。	理学療法士や作業療法士を中心として職員全体で勉強会を実施し、専門分野に関する知識の向上に努めております。	全国の事業所の中には言語聴覚士が在籍しているところもあるため、月1回の会議において、言語聴覚士の視点から必要なアプローチや評価方法を共有し、職員全体のスキルアップを図ってまいります。
3			